

表 4079 2014年中の腹膜炎発症率(回/1患者・年) 治療方法(新分類)別 (PD・HD(F)等併用患者)

治療方法 (新分類)	0	1.0～	2.0～	3.0～	4.0～	5.0～	合計	不明 記載なし	総計	平均	標準偏差
腹膜透析 (CAPD) (%)	442 (87.2)	50 (9.9)	8 (1.6)	5 (1.0)	1 (0.2)	1 (0.2)	507 (100.0)	382	889	0.19	0.64
腹膜透析 (APD) (%)	249 (92.2)	18 (6.7)	2 (0.7)			1 (0.4)	270 (100.0)	231	501	0.10	0.43
腹膜透析 (CCPD) (%)	199 (90.5)	17 (7.7)	3 (1.4)		1 (0.5)		220 (100.0)	138	358	0.12	0.44
合計 (%)	890 (89.3)	85 (8.5)	13 (1.3)	5 (0.5)	2 (0.2)	2 (0.2)	997 (100.0)	751	1,748	0.15	0.55
記載なし (%)											
総計 (%)	890 (89.3)	85 (8.5)	13 (1.3)	5 (0.5)	2 (0.2)	2 (0.2)	997 (100.0)	751	1,748	0.15	0.55

数値下の括弧内は行方向の合計に対する%です。

*個々の患者の腹膜炎発症率(回/1患者・年)は、1.0未満の数値が0となるため、「0」と表示しています。

*腹膜透析(CCPD)は、APDと手動のバック交換の両方を行うもの

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy